

# 平成30年度事業報告

自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日

## 目 次

I 事業の状況	1
1 概況	1
II 事業概要	3
1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】	3
（1）スポーツの普及指導事業	3
（2）レクリエーションの普及指導事業	7
（3）体力の増進事業	14
（4）その他の事業	14
2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】	16
（1）指定管理施設	16
（2）施設管理運営事業	16
（3）緑地管理事業	17
（4）有料施設管理事業	17
（5）指定管理施設の利用者数	18
3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】	19
（1）都市公園等の情報収集事業	19
（2）都市公園等の広報事業	19
（3）都市公園等の調査研究事業	20
（4）都市公園等の利用促進事業	20
（5）都市公園等の地域づくり事業	22
4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】	23
（1）緑化推進の普及指導及び情報収集事業	23
（2）緑化推進の調査研究事業	26
5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】	27
（1）都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業	27
（2）緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業	27
（3）利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業	28
III 役員等に関する事項	29
1 理事、監事の状況	29
3 常勤役員の異動状況	30
4 常勤役員の兼職状況	30
5 理事会及び評議員会の開催状況	30
IV 特記事項	32

# 平成30年度事業報告

自 平成30年 4月 1日

至 平成31年 3月31日

## I 事業の状況

### 1 概況

平成30年度は、あづま総合運動公園、福島空港公園及び逢瀬公園・福島県総合緑化センターについては第3期の指定管理者として、福島市民家園については第2期の指定管理者として、それぞれ5年目の管理運営に当たり、引き続き、利用者に快適かつ安全な施設を提供するため、定期的な巡回や点検など施設の適切な維持管理や緑化の推進に取り組み、管理する公の施設の健全な発展と公共の福祉の増進に努めてきた。

また、事業の実施に当たっては「効率的業務執行」と「サービスの向上」を基本とし、利用者のニーズに合わせた事業を展開した。

スポーツの普及指導については、あづま総合運動公園において、子どもを対象とした水泳や球技、体操などの各種スポーツ教室、一般を対象とした公園健康づくり教室の開催に加え、テニス大会やウォーキング大会等を主催した。また、愛好者が増加しているランニング教室を初めて企画したほか、各種団体の協力によりパラスポーツを身近に感じてもらうための体験会も引き続き開催した。

レクリエーションの普及指導については、あづま総合運動公園において、「春の感謝デー」や公園の宿泊体験の実施、関係団体と連携した「ふくしま手づくりマルシェ」と「あづまT e s h i — g o t 市場」の開催に加え、子ども達に公園内で思いっきり身体を動かして遊んでもらう「あづまちびっこパーク」を実施した。さらに、サイクルスポーツ広場では、利用促進を図るため、夏季にミスト装置を設置したほか、10月のサービスデーに合わせ「子どもサイクルフェスタ」を共催により開催した。

逢瀬公園・緑化センターでは、地域関係団体との連携により「逢瀬公園さくらまつり」「キャベツ餅 MUSIC LIVE」「秋の感謝祭」を実施し、平成30年度は初めて「秋の感謝祭」において「ミニハンドメイド市」を開催した。福島空港公園においては、地域や関係団体と連携して「空港公園ふれあいデー」や「福島空港公園 handmademarket ソライチ」を開催した。加えて空港公園の広大な自然を楽しんでもらう「空のみちウォーク」、「空港公園の森トレッキング」「空港公園でバードウォッチング」を開催した。この他、趣味や趣向に応じた体験が楽しめる「とんぼ玉づくりを楽しむ」「手作りピザを楽しむ」も開催した。また、民家園では、年中行事・体験行事・実演行事など伝統文化の継承事業に取り組んだ。

緑化の推進普及においては、公園の季節ごとの魅力や見どころを伝える「季節の花々をめぐる」や自然の魅力や楽しみ方を伝える人材の育成を目指した「公園の達人宿泊体験」、公園施設の利活用を図るための「あづま香りのバラ園まつり」、「サクラ、イチョウ等の四季のライトアップ」など、緑化に関する体験会やイベント等を開催した。

大規模なイベントとしては、あづま球場ではオリンピック開催を記念した「日米対抗ソフトボール2018」（6月23日）が開催された。加えて、あづま総合体育館では「全

東北オープンダンス選手権大会」(3月31日)、とうほう・みんなのスタジアム等で「東北中学校駅伝競走」(10月30、31日)などが開催された。

次に、各施設の次期指定管理の獲得については、協会が一丸となって事業計画等の策定に取り組み申請を行ったところであり、福島県及び福島市からそれぞれ今後5年間(2019～2023年度)の指定管理者として決定を受け、3月に基本協定の締結を行った。

\* 以下、「あづま総合運動公園」を「あづま」、「福島空港公園」を「空港」、「逢瀬公園」を「逢瀬」、「福島県総合緑化センター」を「センター」、「福島市民家園」を「民家園」という。

## II 事業概要

### 1 スポーツ・レクリエーションの普及指導及び体力の増進に関する事業【公益目的事業】

#### (1) スポーツの普及指導事業

##### 1) スポーツ教室

子どもを対象とした「小学生初心者水泳教室」や大人を対象とした「ワンポイント水泳教室」、「親子で楽しむからだあそび」、「季節を感じるウォーキング教室」「アシックスランニング教室」等のスポーツ教室を開催し、県民の運動意欲の高揚に資するとともに、公園施設利用者の増加に努めた。

場 所	事業名	対 象	実施日	回 数	延べ参加者数
あづま	あづまガールズサッカースクール	小学生～中学生の女子	隔週水曜日 4～3月	全 24 回	170 名
	子どもハートホール体験会	小学生	4～3月	全 6 回	75 名
	公園健康づくり教室	一般	4～3月	19 講座	216 名
	ワンポイント水泳教室	プール利用者	4～6月 10月～3月	全 36 回	219 名
	季節を感じるウォーキング教室	一般	4～5月 9～10月	4日×2期	71 名
	アシックスランニング教室【新規】	一般	11/11	1 回	21 名
	親子で楽しむからだあそび	幼児・親	5～7月 9～12月	10 回	190 名
	小学生初心者水泳教室	小学生	5～3月	6日×5期	820 名
	小学生陸上競技教室	小学生	4/11～5/2	6日×1期	363 名
	小学生一輪車教室	小学生	6/24、※9/30 は雨で中止	1 回	18 名
小学生体操教室	小学生	1/17～28	6日×1期	116 名	
空 港	ノルディックウォーキング体験会	一般	4月～3月	全 24 回	485 名
	みどりの中でヨガ教室	一般	4/7、6/24、 8/4、10/13	4 回	67 名
逢 瀬 センター	ノルディックウォーキング体験教室	一般	4月～3月	全 45 回	512 名

## 2) スポーツ大会

マスターズテニス大会やパークゴルフ大会を主催するとともにウォーキング大会、サッカーフェスティバルなどを各種スポーツ団体と共催により開催し、県民のスポーツ参加に寄与した。

場 所	事業名	対 象	実施日	延べ参加選手数
あづま	第 34 回福島市スポーツ少年団バレーボール競技大会	小学生	4/14、15	240 名
	第 7 回あづま総合運動公園チーム対抗テニス大会（人工芝完成記念大会）	一般	5/3	112 名
	第 34 回全国小学生陸上競技交流大会 県北地区予選会	小学生	6/2	634 名
	第 9 回あづま総合運動公園マスターズテニス大会	一般	6/21	128 名
	第 11 回あづまカップパークゴルフ大会	一般	7/1	115 名
	第 34 回全国小学生陸上競技交流大会 福島県選考会	小学生	7/8	1,642 名
	陸上競技投てき・跳躍講習会	中学生～ 一般	8/8	208 名
	第 21 回 Me&You サッカーフェスティバル	小学生	8/4、5	768 名
	第 37 回福島県サッカースポーツ少年団選抜大会	小学生	8/25、26	764 名
	第 23 回ミニバスケットボールチビっ子フェスティバル	小学生 低学年	9/8、9	4,880 名
	第 14 回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	一般	9/1	39 名
	2018 ふくしま健康マラソン大会	幼稚園児～ 一般	10/14	1,872 名
	第 41 回総合運動公園庭球場オープン記念ダブルステニス大会	小学生、中学 生、一般	10/21、28	230 名
	第 26 回あづまカップ福島市ゲートボール交流大会	一般	10/26	50 名
	第 16 回あづまの郷ウォーク大会	一般	11/3	1,837 名
うつくしまふくしま第 41 回福島県小学生バレーボール選手権大会	小学生	12/8、9	376 名	

あづま	第 21 回あづま荒川 クロスカントリー大会	小学生～ 一般	12/9	2,003 名
	第 18 回あづまジュニア体操競技大会	小・中学生	1/26、27	44 名
	あづまU-12 ガールズフットサル 2019	小学生 女子	2/23、24	124 名
空 港	須賀川市大東地区球技大会	一般	6/4	100 名
	第 9 回福島空港公園杯 8 人制ジュニア サッカーフェスティバル	小学生	6/16、17	700 名
	第 27 回福島県ターゲット・バードゴルフ大会	一般	7/19	70 名
	ルームズカップ 2018 第 11 回中学生 サッカーフェスティバル	中学生	8/17、18	280 名
	第 8 回翡翠チャレンジカップ	小学生	8/21、22	400 名
	第 15 回福島空港公園杯 県南マスターズテニス大会 (記念大会)	一般	9/13	80 名
	第 7 回福島空港公園 秋季選抜 ジュニアシングルステニス大会	中学生	10/6、7	160 名
	第 12 回福島空港公園杯 少年フットサル大会	小学生	10/13、14	600 名
	第 12 回福島空港公園杯 グラウンド・ゴルフ大会	一般	11/1	400 名
	須賀川市市民体育祭 サッカー競技小学生大会	小学生	10/20、21	400 名
逢 瀬、 センター	第 9 回ノルディック ウォーキング大会 in 郡山 2018	一般	6/3	104 名

### 3) ニュースポーツ普及指導事業

#### ① 体験会の実施

グラウンドゴルフ、ディスクゴルフ、ラージ卓球、スポーツ吹矢などの体験会を春の感謝デーやあづまちびっこパーク等で開催した。(あづま 参加者数 延べ 855 名)

#### ② 器具貸出し

園内でのニュースポーツ活動、地域住民への器具貸出しを実施した。  
(あづま 貸出件数 延べ 54 件)

### 4) 他団体連携によるスポーツ普及指導事業

スポーツ関係のNPO法人、各種競技団体などと協働でシニアスポーツ相談及びウォーキング大会を開催し、県民の健康増進に努めた。

場 所	事業名	内 容
あづま	シニアスポーツ相談室の運営	シニア世代の健康増進の一助として、スポーツ・レクリエーション活動に関する情報を継続提供した。相談件数190件。
	第16回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3、参加者数1,837名。
空 港	第11回空のみちウォーク2018	NPO法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/11、参加者数1,000名。

#### 5) 職員が有する能力及び資格を活用したスポーツ普及指導事業

公園資源や職員の持つ資格や技術を活用し、県民の健康づくりに寄与する事業を実施した。

- ① 水泳指導（小学生初心者水泳教室、ワンポイント水泳教室、水連合宿）
- ② アーチERY指導（合宿、練習会）
- ③ トレーニング指導（高校生ウェイトトレーニング教室（他団体へ派遣）等）
- ④ 陸上競技指導

#### 6) 月会員制事業

##### ① 体育館・陸上競技場トレーニング室

大人2,470円、高校生1,240円（期間内1日1回2時間まで使用が可能）の月利用料金を設定した。（本年度登録者数は、延べ991名）

また、シルバー月会員1,850円（期間内1日1回2時間まで、13時～16時限定）を設定した。（延べ30名）

さらに、これまで実施していなかった陸上競技場トレーニング室においても、新たに月会員制度を取り入れた。（延べ54人）【新規】

##### ② 体育館室内プール

大人3,700円、4歳児～高校生1,850円（期間内1日1回使用が可能）の月利用料金を設定した。（延べ141名）

また、シルバー月会員（65歳以上）2,470円（期間内1日1回使用が可能）を設定した。（延べ470名）

##### ③ トレーニング室・プール共通

大人4,940円、シルバー（65歳以上）3,490円、生徒2,470円（期間内プール1日1回、トレーニング室1日1回2時間まで、使用可能）の会員制度（延べ32名）を設定した。



## (2) レクリエーションの普及指導事業

### 1) レクリエーション事業

公園のみどりの豊かさや楽しさを知っていただくため、「あづまちびっこパーク」をはじめ各公園において体験型イベントを実施した。また、県民の生涯学習の場として知識や技術を向上させるため、各種手づくり講座等を開催するとともに、今年度新たに一部の講座で、仕事帰りに参加できるよう夜間の講座も開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま、空港、逢瀬、センター、民家園	公園フォトコンテスト	公園で見つけたとっておきの風景や感動、驚きの様子を捉えた瞬間など、見た人が改めて公園の魅力に気づかされるような写真を募るフォトコンテストを展開。 第11回の入賞作品を展示(あづま、センター、空港、福島県庁)した。第12回を開催し、131名から394点の作品応募があった。
あづま	みどりの県民カレッジ	公園のボランティア活動の人材育成を目的に、公園の特色を活かした講座を開催した。6回、参加者数139名。
	みどりのサポーターの活動	公園内での貢献活動と技術習得の場を企業、団体等に提供した。また、JA福島五連をはじめ、各団体による園内清掃が行われた。11回、参加者数267名。
	造園技術を学ぼう	家庭で造園技術が活かせるよう、公園内で樹木の剪定講習会や四つ目垣の作成講習を行った。4回、参加者数36名。
	みどりのボランティアの活動	公園ボランティアの人材育成を目的に、緑地管理の知識や技術の伝達講座の開催、スキルアップとしての活動の場を提供した。9回、参加者数131名
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。4回、参加者数17名。
	あづまバラ愛好会の活動	バラ栽培を学ぶ場として、公園の香りのバラ園を活用し技術指導などを行った。班活動、自主活動を含め63回開催。参加者数1,659名。
	公園カルチャー教室、公園健康づくり教室	文化や健康づくりに関する教室を年6期45講座開催。うち仕事帰りに参加できる教室を4講座開催。参加者数462名。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	季節の花々をめぐる	福島県もりの案内人の会のガイドで、公園を代表するサクラ、シャクナゲ、イチョウなどの鑑賞会を開催した。4回、参加者数 28 名。
	春の感謝デー	公園の新緑の中で県民が参加し楽しめる、フリーマーケット、ステージショー、各種体験会などを開催した。4/29、参加者数 9,493 名。
	あづまちびっこパーク	子供たちの健康増進と自然とのふれあいを目的に、身体全体を使い楽しく思い切り遊んでもらうイベントをせせらぎ・桜の広場で実施した。6/3、参加者数 505 名。
	冬のキッズフェスタ	子どもたちが参加するイベントを開催し、公園への親しみを醸成した。12/24、参加者数 1,782 名。
	「公園の達人」宿泊体験	公園の自然の中で、宿泊体験を通し公園の可能性や自然の大切さを学ぶことを目的に開催した。7/21～22、参加者数 10 名。
空 港	手作り体験教室	とんぼ玉、手作りピザ、クラフトテープでカゴづくり、ミニ門松づくりの各教室を開催した。6回、参加者数 143 名。
	空港公園で農体験	みんなの野菜畑（植え付け、勉強会、収穫祭、芋掘り）を開催した。2回、参加者数 95 名。
	空港公園自然塾	自然観察、昆虫トラップづくり、木の枝クラフト、森の材料で草木染、ツリーハウスを作ろうなどを実施した。12回、参加者数 300 名
	みどりの講座	バラやハーブの育て方や楽しみ方、季節の寄せ植えをテーマに各教室を開催した。8回、参加者数 161 名。
	季節を彩る「フラワーアレンジ」	季節に咲く花々を用いたフラワーアレンジメント教室を開催した。4回、参加者数 55 名。
逢 瀬、センター	坂道ウォーキングによる健康増進機会の発信	園内の起伏に富んだウォーキングコースの整備と案内看板の設置を行った。また「坂道健康ウォーキングコースマップ」をスタート地点や売店、休憩所に配置した。

逢瀬、 センター	みどりを感じる手づくり講座	地元の陶芸家や染織家を講師に陶芸と草木染めの体験を始め、職員が講師となり正月を飾る寄せ植えづくり教室を開催した。3回、参加者数36名。
	園芸福祉活動コーナー	高齢者施設の利用者等に車椅子でも気軽に園芸体験ができる場を提供した。
	国蝶オオムラサキ・甲虫観察舎の開設	国蝶オオムラサキとカブトムシなどの昆虫の観察舎を設置して、子どもたちの利用促進に努めた。6月～8月、入場者数1,708名。
	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で遊ぼう”	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝クラフト体験等を行った。5回、参加者数161名。また、福島県野鳥の会と連携し、スノーシュー体験と野鳥観察を開催した。

## 2) 他団体連携によるレクリエーション普及指導事業

各公園において、地域の団体や学校などと協働で「ふくしま手づくりマルシェ」、「ふくしまキッズ博」、「みどりのサポーター活動」などを開催し、地域の公園として、地域の活性化等の役割を担いながら、公園利用者の増に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	みどりのサポーターの活動	福島明成高等学校に芝生のメンテナンスや樹木の剪定実習の場を提供した。また、JA福島五連をはじめ、各団体による園内清掃が行われた。11回、参加者数267名。
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに、草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。4回、参加者数17名。
	季節の花々をめぐる	福島県もりの案内人との協働事業により、サクラ・シャクナゲ・イチョウなどの季節の樹木や花の鑑賞会を行った。4月、5月、8月、11月、4回、参加者数28名。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	ふくしま手づくりマルシェ	民家園や巨石広場を会場に、手づくり品の展示販売を通して、地域の活性化や交流を図った。5/19、20、来園者数 30,000 名。
	ふくしまキッズ博	子どもを対象に玩具遊びなどを通して福島の魅力を再認識してもらうイベントを開催した。7/28、29、来園者数 20,000 名。
	第 14 回西方部親善木球大会 兼あづま杯木球大会	福島市西地区体育振興協議会と共催で初心者でも参加できる木球のオープン大会を開催した。9/1、参加者数 39 名。
	パラスポーツ体験会	福島県ポッチャ協会の協力を受け、年齢や性別、運動能力に関わらず、誰でも楽しめるスポーツの体験会を開催した。12/24、参加者数 223 名。
	あづま銀杏フェス	黄葉のイチョウ並木道において、あづま Teshi-got 市場やライトアップ、コンサートなどのイベントを開催した。
	第 9 回あづま Teshi-got 市場	手づくり品を通じた交流を目的にイベントを開催した。10/27、28、来園者数 39,750 名。
	第 16 回あづまの郷ウォーク大会	福島県ウォーキング協会や福島西地区行政区等と協働で開催した。11/3 開催。参加者数 1,837 名。
空 港	Y O S A K O I in 空港公園	地域のよさこい団体から参加者を募集し、活動と披露の場を提供した。5/3、来園者数 4,883 名。
	第 7 回福島空港公園 handmademarket 「ソライチ」	地域の手作り愛好者団体と協働で、手作り品を販売するイベントを開催した。6/2、3 来園者数 61,250 名。
	十五夜音楽会	地域で活動している音楽グループと協働で、十五夜音楽会を開催した。9/24、参加者数 300 名。

空 港	第 1 1 回空のみちウォーク	NPO 法人や地域の団体と協働で空港公園や空港周辺を歩くウォーク大会を開催した。11/1、参加者数 1,000 名。
	空港公園「そば道場」	NPO 法人と協働で、空港公園で栽培したそば粉を活用して、そば道場を開催した。12/9、参加者数 100 名。
	空港公園クリスマスコンサート	クリスマスの時期に合わせ、コンサートを実施した。12/24、参加者数 150 名。
	空港公園の森トレッキング	NPO 法人や地域の団体と共催で空港公園の広大な自然の中を歩く「空港公園の森のトレッキング」を開催した。3 回、参加者数 300 名
	空港公園でバードウォッチング	日本野鳥の会郡山支部と共催でバードウォッチングを開催した。5/27、2/3、参加者数 28 名。
	空港公園で健康になろう	空港公園の 3 エリアを活用し、ノルディックウォーキングやヨーガの体験会を開催した。ヨーガ 4 回、ノルディック 24 回、参加者数 552 名。
	空港公園で農体験	みんなの野菜畑（植え付け、勉強会、収穫祭、芋ほり）を開催した。2 回、参加者数 95 名。
	空港公園子ども生け花教室【新規】	地域の子供たちを対象とした生け花教室を開催した。3 回、参加者数 75 名
逢 瀬、 センター	春の山野草展、秋の盆景展	センターを拠点として活動するみどりの愛好会（2 団体）と協働で、山野草の展示会を開催した。5/26、27、10/19、20、21、来園者数 755 名。
	キャベツ餅MUSIC LIVE 2018	地元「安積アルプス出逢いプロジェクト」の事業として、逢瀬公園わんぱく広場を会場に、5 回目となるキャベツ餅MUSIC LIVEを開催した。天候にも恵まれ多くの来園者が訪れた。9/16、来園者数 4,914 名。

場 所	事 業 名	内 容
逢 瀬、 センター	公園は僕らの宝島“逢瀬の森で遊ぼう”	もりの案内人の会県中支部と連携し、木の枝クラフト体験等を行った。4/22、6/16、7/28、10/6、2/9、参加者数 161 名。また、福島県野鳥の会と連携し、スノーシュー体験と野鳥観察を行った。
	朝採り野菜市	地域生産者の高齢化と会員減少のため開催中止。
	逢瀬公園秋の感謝祭	わんぱく広場を会場に、地域の各種団体の協力を得ながら開催した。今年初めての「ハンドメイド市」や、「リデュースウォーク」教室、「きのこのQ&A コーナー」も行った。10/6、参加者数 1,719 名。
民家園	縁側の山野草展・即売会	古民家の風情と稀少な山野草の展示会を開催し、併せて苔玉作り体験会や即売会を行った。6/2、3、来園者数 651 名。
	民家園ふれあい祭り	古民家を利用した工作体験、地元産新そばの販売、劇団公演、スタンプラリーなど市民団体協働のまつりを開催した。11/4、参加者数 1,842 名。

### 3) 地域連携によるレクリエーション普及指導事業

地域の自治会や商工会等の団体と協働で「緑と花のあふれるまちづくり」等様々なイベントを開催し、地域の活性化に取り組んだ。また、「いきいき交流通学合宿の受け入れ」等により、地域と連携しながら子どもたちの育成に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	「地域に学ぶ中学生体験学習」の生徒受け入れ（市内各中学校）	地域の中学校が行う職場体験学習を受け入れ、施設の見学や職員の行っている業務体験を行った。参加者数 4 校から 18 名。
	みどりのサポーターの活動	福島明成高等学校に芝生のメンテナンスや樹木の剪定実習の場を提供した。また、JA福島五連をはじめ、各団体による園内清掃が行われた。11 回、参加者数 267 名。
	緑と花のあふれるまちづくり	福島商工会議所女性会とともに、草花の栽培などを行い、地域の美化に取り組んだ。4 回、参加者数 17 名。

あづま	あづまバラ愛好会の活動	ローズコンシェルジュとともに、公園のバラ園を学びの場として活用し、技術指導などを行った。班活動、自主活動を含め 63 回、参加者数 1,659 名。
	うつくしま園芸福祉の会との協働連携	クリスマスローズ花壇の手入れを行った。 5/11、6/15、7/13。 また、春の感謝デーでは、種でつくるブローチ体験会などを開催した。4/29。
	いきいき交流通学合宿の受け入れ	地元の小学生の宿泊体験を体育館 3 階の宿泊施設を利用して開催し、子どもたちの育成に寄与した。6/24～26、参加者数 16 名。
	子ども応援プロジェクト（絵本ぶんこ読み聞かせ）	地域の読み聞かせ団体と協働で、来館した幼児とその保護者を対象に読み聞かせを開催した。3/10、参加者数 20 名。
空 港	空港公園ふれあいデー	地域で活動する各種団体と連携し、空港公園が地域活動拠点とすることを目的に、フリーマーケット、おもしろサイクル、プラ板づくり、おもしろステージ、移動動物園、飲食テント村等を 5 月～9 月に開催。3 回、来園者数 11,064 名。
	花のまちづくり推進事業	地域環境の美化活動や地域おこしを行うことを目的に、市民の参加を得て、花苗を栽培した。4 月から 10 月まで 6 回、延 63 人が参加し、4,000 ポットの花苗を地域に寄贈した。
	空港公園で夢体験	施設の利用促進や地域交流の機会の創出を目的に「YOSAKOI in 空港公園」、「十五夜音楽会」、空港公園「そば道場」、「空港公園クリスマスコンサート」を開催した。来園者数 5,433 人。
逢瀬、センター	逢瀬公園さくらまつりの開催	地域の商工会と実行委員会を組織し開催した。地元高校生のフラダンスが好評で、ひよっこ踊りやミニジャズコンサートも行った。4/22、来園者数 3,325 名。
民家園	民家園つるし雛&荒井寒ざらしそば祭り	周辺地域の協力のもと、つるし雛の展示と地元産農産物の販売を行った。4/7～4/8（そば祭りは 4/8 のみ）、参加者数 1,951 名。

場 所	事 業 名	内 容
民家園	古民家のお茶会	4月の民家園つるし雛&荒井寒ざらしそば祭り、11月のあづまの郷ウォーク大会に併せ、古民家でお茶会を開催した。4/8、参加者数50名、11/3、参加者数80名。
	西地区歴史再発見事業「絹が鳴る」	西地区の地域活性化の取り組みである、広瀬座での劇団公演「絹が鳴る」の開催に連携・協力した。11/4 来園者数1,842名。

#### 4) サイクルスポーツ広場事業

変わり種自転車や一輪車、バッテリーカーやそり(無料)の貸出を行った。

また、年4回、無料開放日を設け、家族団欒と子どもたちの健康増進の場の提供に努めた。

年間の利用者数は、延べ459,723名、有料自転車等利用者数は186,768名、バッテリーカー利用者数22,678名であった。(あづま)

### (3) 体力の増進事業

場 所	事 業 名	内 容
あづま	軽運動室の無料開放	震災後、屋外での運動機会が減っている子どもたちの健全育成や体力増進を応援するため、小学生以下を対象に、本来有料施設である軽運動室を無料開放した。利用者数54,186名。

### (4) その他の事業

#### 1) 文化伝承事業

七夕、風鈴やハロウィン、クリスマスなど、季節にふさわしい室内展示や生活・文化を伝承する通年の行事を開催した。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	季節感を創出する伝統文化の展示	季節に合わせて、七夕飾りと風鈴、門松、お月見、ハロウィン、クリスマス飾り、団子さしを展示した。



空 港	季節の伝統行事を楽しむ	七夕の短冊飾り、クリスマスツリー飾り、団子さし、おひな様飾りを地域の幼稚園児等と制作し、エアフロントエリア休憩所に展示した。4月～2月、参加者数 121 名。
逢 瀬、 センター	季節を感じる展示・飾り付け	四季の移り変わり、暦や各種イベントに合わせた飾り付けを行った。七夕飾り、風鈴棚の設置、ハロウィン飾り・ランタンづくり教室（参加者数 10 名）、団子さし飾りを行った。
民家園	年中行事・体験行事・実演行事・ボランティアガイド	年中行事等の再現や来園者へのガイドの手配等円滑な運営に努めた。年中行事 12 回、体験行事 7 回、実演行事 3 回、ボランティアガイド 166 件
	全国のだるま展示会・絵付け体験	寄贈品の展示と展示を活用した絵付け体験を実施。施設の利活用に寄与した。12/15～2/17、来園者数 2,022 名、体験者数 30 名。
	お正月遊び体験	民家園を活用した昔ながらのお正月遊びを来園者に提供予定。1/4～14、来園者数 467 名

## 2 都市公園並びにスポーツ・レクリエーション及び歴史・文化・自然に関わる施設の管理運営事業【公益目的事業】

### (1) 指定管理施設

#### 1) 指定管理者としての施設の維持管理業務

施設名	面積 (㎡)	維持管理施設
あづま総合運動公園	88.2	総合体育館ほか有料施設 11施設 巨石広場ほか無料施設 10施設 (クライミングウォールを含む。)
福島空港公園	52.1	庭球場ほか有料施設 4施設 日本庭園ほか無料施設 9施設
逢瀬公園	17.3	桜の広場ほか無料施設 5施設
総合緑化センター	16.5	管理棟 1施設 日本庭園ほか無料施設 17施設
福島市民家園	11.0	古民家 11施設 展示館、管理棟、休憩棟 3施設

### (2) 施設管理運営事業

#### 1) 定期的な巡視

安全・安心な施設を提供するため、定期的な巡視を行い、異状があった場合は適切な対応に行った。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 2) 点検作業

適正な施設の維持管理と点検作業の体系化を図るとともに、遊具の日常管理や保守点検を行った。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 3) 修繕計画

有資格者の職員による施設点検を行い、更新などの修繕計画を作成した。また、福島県などの施設管理者に予算確保のための資料として提出した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 4) 災害等の対応

来園者の安全確保や不法行為の防止及び災害等の不測の事態に備えるために、避難誘導訓練や普通救命講習などを実施した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 5) 放射線量測定

園内各施設の放射線量を定期的に測定し、ホームページや掲示板への掲示により利用者に情報を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)

#### 6) 利用者へのサービス

- ① 公園内の季節の見どころに可動式ベンチを設置(あづま)
- ② 県補助金を活用し、香りのバラ園に、修景と利用者の休憩を兼ねた四阿を新たに整備した。(あづま)【新規】

#### 7) 古民家等の適切な管理

貴重な古民家及び民俗資料を次世代に引き継いでいくため、適切な管理を行った。(民家園)

### (3) 緑地管理事業

- ① 各植物の特性に配慮した植栽管理を行った。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ② 生育状況や利用に応じた適切な芝生管理を行った。(あづま、空港)
- ③ 自然環境に配慮した植生管理、景観性に配慮した植栽管理を行った。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ④ 貴重な植物の保護に取り組んだ。(あづま、逢瀬、センター)
- ⑤ 季節毎に楽しめる草花管理、自然美に配慮した下草管理、意匠性と自然美を融合させた植栽管理に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑥ 日本庭園において日本らしさ、郷土性、季節感の感じられる緑地管理に努めた。(空港)
- ⑦ 樹木の枯れ枝などを巡視で発見し剪定を迅速に行った。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ⑧ とうほう・みんなのスタジアム、あづま球場の芝グラウンドにおいてプロスポーツ利用に配慮した芝生補修を迅速に行った。(あづま)

### (4) 有料施設管理事業

- ① 有料施設の適正な利用受付及び貸出業務を行うことにより、公平・公正な貸出を行った。(あづま、空港、センター)
- ② 有料施設の公平・公正な貸出を確保するための利用者会議の開催及び有料施設の年間利用計画の策定を行った。(あづま、空港)

## (5) 指定管理施設の利用者数

あづま総合運動公園では、補助陸上競技場や庭球場で昨年度をやや上回る利用が見られたが、集客力のある大会や興行イベント等の開催が例年に比べ少なかったことから、体育館では昨年比で約20%（約8.8万人）の利用者数が減少した。また、あづま球場では、プロ野球の開催がなくオリンピックに向けた整備のため11月から利用中止となっており、約54%（約5.4万人）の減少が見られた。この結果、公園全体の利用者数は、前年度を約10%（約19.8万人）下回る結果となった。

福島空港公園では、エアフロントエリアにおいて「空港公園ふれあいデー」や「福島空港公園 handmedemarket ソライチ」などの大型イベントを開催し、公園の魅力を発信することで、散策者の増加にもつなげたが、緑のスポーツエリアの庭球場や多目的運動広場など有料施設の利用者数の減少が見られたことから、利用者数については前年度と比較し、若干（約1600人）の増に留まった。

逢瀬公園・緑化センターでは、大規模イベントの春の「さくらまつり」や秋の「感謝際」では天候不良等の大きな影響はなかったものの、7月、8月の猛暑と9月、10月の長雨等の影響で前年度に比べて一般散策者が減少しており、利用者数は全体として約6%（約9.8千人）の減少となった。

民家園の利用者数については、年中行事等への参加者や一般散策者など前年度より約1%（443人）増加した。

### 指定管理施設の利用者数推移

公園名	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
あづま	1,383,641	1,156,648	1,890,242	1,507,945	1,772,697	1,839,769	1,750,177	1,984,697	1,786,897
空 港	432,972	379,192	420,787	474,787	438,047	508,824	519,573	529,353	530,967
逢 瀬、センター	162,339	129,160	139,544	163,554	180,757	183,637	169,762	163,448	153,633
福島市民家園	47,175	15,969	33,380	36,183	38,047	46,169	40,515	35,432	35,875
合 計	2,026,127	1,680,969	2,483,953	2,182,469	2,429,548	2,578,399	2,480,027	2,712,930	2,507,372

単位：人

### 3 都市公園等に関する情報の収集、広報、調査研究及び利用促進並びに地域づくりに関する事業【公益目的事業】

#### (1) 都市公園等の情報収集事業

- ① イベント開催時に公園利用者へのアンケート調査を実施し、分析結果を次の開催に反映した。(あづま〔ライトアップ時等〕に実施。対象イベント数3件、回収数649件。)
- ② 公園管理運営に対する満足度を調査するためのアンケートを意見箱などで収集した。
- ③ 大会開催時等に利用団体等から施設や運営についての情報収集を行った。
- ④ 他類似公園の管理運営情報の収集を行った。

#### (2) 都市公園等の広報事業

- ① マスメディアを活用した広報活動を積極的に展開した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ② スポーツ団体、学校、各種団体等に対し施設利用誘致活動の推進に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ③ 協会発行の広報誌配布による県民への情報提供を行い、利用促進に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ④ 園内で見られる花を図鑑として作成し、これを花の時期に掲示することにより、みどりの普及・啓発に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)
- ⑤ ホームページ掲載中の各施設の現況や大会・イベント開催状況などの情報をこまめに更新することにより、来園者の利便性向上に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑥ ホームページ「公園の四季」において、園内の開花状況などのみどりに関する情報を随時提供した。また、公園の健康づくりを楽しむための情報をまとめた「公園で健康になろう」、公園フォトコンテスト入賞作品から公園の魅力を伝える写真をピックアップして紹介した「公園の魅力フォトライブラリー」等を掲載した。  
(あづま)  
逢瀬公園・緑化センターではホームページを一新し、より見やすくリニューアルし、ツイッターでのリアルタイムな情報提供も出来るようにした。(逢瀬、センター)
- ⑦ ツイッターを活用し、リアルタイムな情報の提供と交換に努めた。また、きめ細やかに公園の四季を発信した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑧ 電光掲示板やデジタルサイネージ(電子看板)を活用し、リアルタイムな情報提供に努めた。(あづま)
- ⑨ 植物学習の場を提供するため、植物名板の充実に努めた。(あづま、逢瀬、センター、民家園)

- ⑩ インターネットのブログの日常的な更新など、公園の最新情報の提供に努めた。  
(空港)
- ⑪ 年間を通し、公園で開催される大会やイベント内容を園内掲示板へ掲示し、情報提供を行った。また、公園に対する意見・要望への回答も掲示した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑫ 公園利用者が所有する情報を交換できる「公園情報コーナー」を休憩所に設置し、利用者の交流の場を提供した。(逢瀬、センター)
- ⑬ 地域と連携し、公園及び隣接する河川沿いの桜の維持活動を行う新名所「逢瀬さくらの里」づくりに参画し、桜の維持管理をはじめ、秋桜や菜の花の種蒔きなどを行った。(逢瀬、センター)
- ⑭ 地域団体「逢瀬さくらの里」と共催し、(一社)日本樹木医会、福島県支部の樹木医を招いた「逢瀬さくら講座」を3/16に開催した。(参加者数56名)地元住民をはじめ郡山市、福島県造園建設業協会からの参加もあり活発な意見交換が行われた。(逢瀬、センター)

### (3) 都市公園等の調査研究事業

全国公園協議会現地検討会へ職員を参加させ、情報収集や情報交換を行った。

### (4) 都市公園等の利用促進事業

#### 1) 施設の特性を活かした事業の推進

- ① 距離表示板の設置やマップ作成等により、園内ウォーキングコースの充実に努めた。(あづま、空港、逢瀬、センター)  
また、園路の舗装面に距離表示を行うことで、ジョギングコースの充実に努めた。(あづま)
- ② 公園案内、スポーツ指導、イベント補助、年中行事の伝承などにおいて、ボランティア活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ③ あづまボランティア、みどりのボランティア、みどりのサポーター、あづまバラ愛好会、福島空港公園ボランティア、おうせボランティアの育成を図るとともに活動の場を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター)
- ④ 次の有料施設を個人利用者に無料開放する「個人利用サービスデー」を実施した。(あづま、空港)
  - ア あづま総合運動公園 (5/5、8/26、10/8、12/2 年4回)  
プール、体育館トレーニング室及び体育室、陸上競技場(トレーニング室含む)、庭球場、サイクルスポーツ広場。利用者数は32,093名。
  - イ 福島空港公園 (毎月1回) 庭球場。利用者数は303名。
- ⑤ 学校や幼稚園等の遠足・見学等を随時受け入れた。なお、雨天の際には休憩の場として、屋内施設を提供した。(あづま、空港、逢瀬、センター、民家園)
- ⑥ 軽運動室を復興支援として引き続き無料開放した。(あづま)

- ⑦ 庭球場の新たな需要を調査するため、6月から8月の土日祝日朝6時から「早朝タイムの試行営業【新規】」に取り組んだ。17日間で959名の利用があった。(あづま)
- ⑧ 公園利用の促進を図るとともに芝グラウンドのプロスポーツ利用に対応するため、3月～11月末まで使用可能とするよう芝生の養生管理に努めた。(あづま)
- ⑨ NPO法人のスポーツクラブを支援し、協働でカルチャー教室や健康づくり教室の開催、シニアスポーツ相談室の運営を行った。(あづま)
- ⑩ ヤマユリ群生地を保全を図るとともに、アジサイ園、シャクナゲ園、バラ園の植物園としての適切な管理を行った。(あづま)
- ⑪ バラの愛好者が集い、公園内のバラ園を活用して栽培技術などを学ぶ「あづまバラ愛好会」の活動を支援した。(あづま)
- ⑫ 草花の栽培技術の伝達などを通し、地域団体をみどりで支援する「緑と花のあふれるまちづくり」事業に取り組んだ。(あづま)
- ⑬ 一定のルールの下で、一般県民による自由なごみ拾いを推奨し、清掃作業の軽減を図るとともに、公園の新たな秋の風物詩となるよう取り組んだ。(あづま)
- ⑭ 公園の特色を活かしたイベントを開催することで、公園の四季を身近に感じてもらおうとともに、各種植物園（円形花壇、香りのバラ園、ヤマユリ園、アジサイ園）の魅力を発信した。(あづま)
- ⑮ サクラやイチョウ、古民家などの公園資源を活用したライトアップを開催し、公園の魅力を発信した。(あづま、民家園)
- ⑯ 福島空港公園フットサルコートの特典サービス（年間）（空港）  
フットサルコートにおいて、10時間利用で1時間分無料の回数券を発行した。
- ⑰ 日本らしさと四季の演出、公園の新たな魅力の再発見を目的に、日本庭園マツの雪吊りを実施した。(空港)
- ⑱ 利用者からの健康増進のための要望に応え、卓球台を設置し、貸し出し（有料）を行った。(空港)
- ⑲ 条例で休館日となっている第3日曜日にも開館し、公園利用者の利便を図った。(センター)
- ⑳ ウォーキングを楽しむ利用者への更なる情報提供を充実させるため、逢瀬公園坂道健康ウォーキングマップ&周辺のんびりウォーキングマップを西駐車場に配置した。(逢瀬、センター)
- ㉑ 公園利用者の利便性の向上と地域連携を目的に開店した「公園の駅おうせ茶屋」の運営に協力した。同施設は、郷土料理「キャベツ餅」の販売や地域食材を活用した飲食サービスの他、公園や周辺地域の観光情報の提供等にも取り組んでいる。(センター)
- ㉒ 植物名板や解説板の増設を行うとともに、公園の冬の風物詩として、事務所前日本庭園マツの雪吊りを実施し、施設の魅力アップを図った。(逢瀬、センター)

- ②③ 古民家の風情を活かした「縁側の山野草展・即売会」、「生花展示」、「だるま絵付け体験」、また、寄贈されたものを活用した「着物展示」、「だるま展示」を開催し、利用促進を図った。(民家園)
- ②④ 福島市小鳥の森と共催で、「コーヒーを飲みながら野鳥の声を聞こう」等を開催し、民家園の新たな魅力発信を図った。(民家園)

#### (5) 都市公園等の地域づくり事業

商工会と協力して花苗の栽培を行う等、地域の団体との協働による様々なイベントを開催するとともに、ボランティアの受入れや育成を通し、地域の活性化や地域づくりのリーダーとなる人材等の育成に取り組んだ。

場 所	事 業 名
あづま	「地域に学ぶ中学生体験学習」の生徒受け入れ(市内各中学校)
	子ども応援プロジェクトの実施
	みどりのサポーターの活動
	みどりのボランティアの活動
	緑と花のあふれるまちづくり
	あづまボランティアの活動
	あづまバラ愛好会の活動
	いきいき交流通学合宿の受け入れ
	あづまの郷ウォーク大会
	荒川ミュージアムへの参画
	うつくしま園芸福祉の会との協働連携
	東京オリンピック・パラリンピックに係る関係地域・団体による連携会議
空 港	空港公園で夢体験
	空港公園ふれあいデー
	空のみちウォーク
	空港公園ボランティア活動
逢 瀬、 センター	地域の花いっぱい運動への花苗の栽培提供
	「安積アルプス出逢いプロジェクト」地域づくりへの取り組み
	逢瀬さくらの里づくりへの取り組み



#### 4 緑化に関する普及指導、情報の収集及び調査研究に関する事業【公益目的事業】

##### (1) 緑化推進の普及指導及び情報収集事業

###### 1) 公園資源を活用した緑化推進事業

① 公園資源を活用した「あづま香りのバラ園まつり」やライトアップを開催するとともに、花苗の無料配布や各種体験会を実施し、緑化の推進に努めた。

また、公園の四季を楽しんでいただくために開催しているライトアップ事業では、環境への配慮から、従来の水銀灯からLED灯への入れ替え作業に取り組んだ。

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
あづま	サクラの光のファンタジー	4/4～4/15	1,900名
	あづまバラ愛好会の活動	4/9～3/15	1,659名
	季節の花々をめぐろう	4/21、5/13、 8/5、11/11	28名
	みどりのボランティアの活動	4/20～3/8	131名
	春の感謝デー花苗配布（1,000ポット）	4/29	500名
	ジャンボかぼちゃづくり	5月～10月	—
	みどりのサポーターの活動	5/21～12/10	267名
	あづま「香りのバラ園まつり」	6/2～3	14,000名
	あづまちびっこパーク	6/3	505名
	緑と花のあふれるまちづくり	6/15～12/5	17名
	イチョウ光のプロムナード	10/20～11/11	7,894名
	光のTREEページェント	12/14～1/14	10,212名
	「公園の達人」宿泊体験	7/21～22	10名
	園内掲示板への花だより情報の掲載	年間	—
空 港	花のまちづくり推進事業	4/5、4/25、 6/1、8/20、 9/13、10/11	63名
	空港公園の森トレッキング	4/14、5/13 12/9	300名
	空港公園で農体験	5/17、10/18	95名

場 所	事 業 名	実施日	参加者数
空 港	みどりのカーテン設置	5/29～10/8	—
	空港公園でバードウォッチング	5/27、2/3	28名
逢 瀬、 センター	みどりに親しんでもらうための展示と工夫	通年	—
	みどりの日記念花苗無料配布	5/4	250名
	山野草展、盆景展	5/26、27 10/19～21	864名
	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習事業	7/16、9/22	21名
	夏休みみどりの絵画募集	9/1～9/10	39名
民家園	みどりのカーテン設置	5/11～9/17	—
	縁側の山野草展	6/2、3	651名
	植物見頃情報板及び花図鑑の設置	通年	—

② 緑化に関する知識の向上を目的に、家庭園芸の基礎を学ぶ各種教室や自然とふれあう体験教室を開催することにより緑化の普及に努めた。

場 所	イベント名	実施日	参加者数
あづま	季節の花々をめぐろう	4/21、5/13、8/5、11/11	23名
	みどりの県民カレッジ	5/14、6/20、7/25、9/10、 10/20、11/23	139名
	造園技術を学ぼう	6/9、6/23、9/8、9/29	30名
空 港	空港公園自然塾	4/7、4/28、6/16、7/21、 8/18、9/29、10/20、 11/17、12/8、1/19、2/18、 3/16	300名
	みどりの講座	5/18、6/15、7/13、8/3、 9/7、10/12、11/23、 12/14	161名
	空港公園子ども生け花教室【新規】	5/20、7/1、10/28	75名
	季節を彩る「フラワーアレンジ」	5/19、7/7、9/1、12/22	55名
	樹木剪定専門技術研修	5/26、27、10/13、14	56名
	空港公園きのこ観察会【新規】	6/24、8/5	21名

逢瀬、センター	スローライフを楽しむハーブ講座	4/25、6/14、7/14、8/25、9/26、11/27	71名
	実践で学ぶ庭木の剪定講座	5/11、5/21、6/8、8/28、10/11、30	52名
	公園は僕らの宝“逢瀬の森で遊ぼう”	4/22、6/16、7/28、10/6、2/9	161名
	暮らしを彩るみどりと花の講座	5/17、6/30、9/30、11/3、11/24	62名
	笑顔広がるにこにこバラ講座	5/24、6/21、10/17、11/21、11/30	76名
	きのこを通して森を学ぶ親と子の環境学習事業	7/16、9/22	21名
	逢瀬さくら講座	3/6	56名

## 2) 職員が有する能力及び資格を活用した緑の普及指導事業

みどりの専門分野の知識・能力を活用し、ガーデニング教室、園芸教室等の教室や講座を開催することにより、みどりの普及啓発に努めた。

場 所	事 業 名	内 容
あづま	造園技術を学ぼう	家庭で造園技術が活かせるよう、公園内で樹木の剪定講習会や四つ目垣の作成講習を行った。4回、参加者数30名。
	みどりの県民カレッジ	公園の特色を活かした親しみのある講座の中で職員が持つ技術提供を行った。6回、参加者数139名。
空 港	みどりの講座	家庭での庭づくりやガーデニングの基礎知識を公園から伝えることを目的に講座を開催した。8回、参加者数161名。
逢瀬、センター	芝生の葉アートを楽しもう	みどりに親しんでもらうことを目的に、芝生の広場で、地域の子どもたちに手動芝刈り機を使って芝刈り作業を体験してもらった。緑の芝生の中に大きなハートマークを浮かび上がらせることができた。取材にはTV局1社、新聞社2社が取材に訪れた。5/29、参加者数13名。
	暮らしを彩るみどりと花の講座	全5講座のうち3講座は、ガーデニング初心者向きの内容に加え、職員が持つ技術提供を行った。参加者数62名。

### 3) その他受託事業

グリーンアドバイス事業の受託

- ① あづま総合運動公園・空港公園にグリーン・アドバイス・センターを開設し、一般県民及び市町村、団体から庭木や草花の病害虫の診断や防除指導等、みどりに関する疑問や質問等の相談をみどりの有資格者が受け対応した。

・緑地の設計	3件
・樹種選定・特性	115件
・栽培・増殖	768件
・育成管理	1,052件
・樹勢診断・治療処方	6,841件
・病害虫	47件
・その他	667件

合 計 9493件

〔うち、相談室内アドバイス	963件	〕
出張アドバイス	8,530件	

- ② 講習会等への講師派遣を行った。

・福島市学習センター	2件
・飯舘村自治会	2件
・飯舘村公民館	2件
・飯舘村学習センター	1件
・北塩原村	1件

### 4) 情報収集事業

みどりに関する季刊誌や県外の公園情報誌等から情報収集を行った。

## (2) 緑化推進の調査研究事業

### 1) リサイクル事業

- ① 剪定枝や松くい虫被害木はチップパーにより減容化し、養土くんにより堆肥化するとともに、花壇の土壌改良材として利用した。(あづま)
- ② 落葉樹を主とした落ち葉は分別収集して積み置きし、来年度の花壇堆肥化として再利用するため保管した。(あづま、空港)
- ③ 剪定枝はチップパーにより減容化し、処分施設内に保管した。(空港、逢瀬、センター)

2) 生態系に配慮した事業

- ① 公園内の自然環境を踏まえて、生態系に配慮した緑地管理を実施した。(あづま、空港、逢瀬)

3) 逢瀬公園、さくら守事業【新規】

- ① さくらの広場のサクラの樹勢診断とカルテ作成、剪定や土壌改良による樹勢回復を実施した。(逢瀬、センター)

5 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業【収益事業】

(1) 都市公園の管理運営のうち、興行に類するものへの貸出に関する事業

1) 興行に類するものへの貸出状況

- ① B Cリーグ福島ホープス戦 (6月2日)  
② J3ユナイテッドホームゲーム (4月1・29日、5月3日、6月3・17・24日、9月2・16日、10月7・28日、11月18・25日、3月24・31日、合計14試合)  
③ 日米対抗ソフトボール2018 (6月23日)

(2) 緑化の推進に関する樹木等調査、緑地造成及び緑地管理の受託事業

1) 緑化の推進に関する樹木等調査事業

- ① 街路樹、緑の文化財等の樹勢診断調査及び保全対策の設計、施工  
指定天然記念物樹勢回復業務委託 (診断) (本宮市)

工期 : H30. 8. 2~H30. 11. 30

平成30年度指定天然記念物定期診断業務 (郡山市)

工期 : H30. 11. 27~H31. 3. 29

2) 緑地の造成及び緑地管理事業

- ① 福島県立医科大学の緑地管理  
福島県立医科大学緑地保全管理業務 (公立大学法人福島県立医科大学)

工期 : H30. 4. 1~H31. 3. 31

### (3) 利用者への利便性供与を目的とする物品販売等に関する事業

#### 1) 売店等の設置(あづま、空港、センター)

あづまに1箇所のレストラン及び空港に2箇所の常設売店を設置し、利用者への利便性向上に努めた。

また、センターの売店「公園の駅おうせ茶屋」は4月から11月にかけて営業し、利用者の利便性の向上と地域連携に努めた。

スポーツ大会、イベント開催時の臨時売店などの設置

	臨時売店	フリーマーケットなど
あづま	延べ 486店	延べ 503店
空港	延べ 61店	延べ 321店
センター	延べ 24店	延べ 2店

※センターでは、秋の感謝祭において新たにミニハンドメイド市を開催した。

#### 2) 自動販売機の設置

	飲料水	飲食物
あづま	42台	8台
空港	8台	—
センター	2台	—

#### 3) スポーツ用品の販売(あづま、空港)

卓球ボールやバドミントンのシャトル、テニスボール等、スポーツ用品の販売を行い、利用者への利便供与に努めた。

#### 4) 地域の農産物の販売(センター)

秋の感謝祭と同時開催の予定であったが、生産農家の高齢化、後継者不足と会員減少などにより中止となった。

### Ⅲ 役員等に関する事項

#### 1 理事、監事の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	補充選任 (平成30年6月15日)	変更事由等 (平成31年3 月31日)	〈参考〉 補充選任 (平成31年4月1日)
			氏 名		氏 名
理 事	大 河 原 聡				
理 事	石 森 春 男				
理 事	佐 賀 勝				
理 事	欠 員		太 田 隆 夫		
理 事	新 谷 崇 一				
理 事	飯 沼 隆 宏				
理 事	佐 藤 弘 樹			辞任による	尾 形 幸 男
理 事	相 澤 広 志			辞任による	芦 野 英 明
理 事	森 崎 俊 紘				
理 事	若 松 伸 司				
監 事	齋 藤 忠				
監 事	根 本 達 弥				

#### 2 評議員の状況

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	補充選任	変更事由等 (平成31年3 月31日)	〈参考〉 補充選任 (平成31年4月1日)
			氏 名		氏 名
評議員	五十嵐 俊 夫			辞任による	齋 野 和 則
評議員	金 子 市 夫			辞任による	小 林 真
評議員	齋 藤 卓 夫				
評議員	真 田 哲 也				
評議員	玉 根 吉 正			辞任による	岡 崎 拓 哉
評議員	鈴 木 和 栄			辞任による	遠 藤 徳 良
評議員	照 山 成 信	辞任による	七 宮 弘 (平成30年9月28日)		
評議員	西 山 尚 利				

役 職	期 首 氏 名	変更事由等	補充選任	変更事由等 (平成31年3 月31日)	〈参考〉 補充選任 (平成31年4月1日)
評議員	本 多 勉				
評議員	和 合 アヤ子	辞任による	齋 藤 可 子 (平成30年6月15日)		

### 3 常勤役員の異動状況

新：理事長 大河原 聡 (平成30年4月1日就任)

旧：理事長 渡 邊 宏 喜 (平成30年3月31日辞任)

### 4 常勤役員の兼職状況

兼 職 名	兼 職 者
(公社)福島県森林・林業・緑化協会理事	理事長 大河原 聡
(公財)福島県スポーツ振興基金理事	〃
福島県体育施設協会会長	〃
(公財)日本体育施設協会評議員	〃

### 5 理事会及び評議員会の開催状況

開催月日	提 出 議 題
<b>第1回理事会</b> 平成30年4月1日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名	議案第1号 理事長の選任(案)について
<b>第2回理事会</b> 平成30年5月28日 杉妻会館 同意理事 7名 同意監事 2名	議案第1号 平成29年度事業報告及び附属明細書について 議案第2号 平成29年度決算に係る計算書類及び附属明細書 について 議案第3号 平成30年度第1回評議員会の招集(案)につい て



<p><b>第1回評議員会</b> 平成30年6月15日 杉妻会館 同意評議員 8名 出席監事 2名</p>	<p>報告事項1 平成29年度事業報告及び附属明細書について 議案第1号 平成29年度決算に係る計算書類及び附属明細書について 議案第2号 評議員の選任(案)について 議案第3号 理事の選任(案)について</p>
<p><b>第3回理事会</b> 平成30年9月19日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名</p>	<p>議案第1号 平成30年度第2回評議員会の開催(案)について</p>
<p><b>第2回評議員会</b> 平成30年9月28日 決議の省略による方法 同意評議員 9名</p>	<p>議案第1号 評議員の補充選任(案)について</p>
<p><b>第4回理事会</b> 平成31年1月24日 杉妻会館 同意理事 7名 同意監事 2名</p>	<p>報告事項1 平成30年度職務執行状況報告について 議案第1号 平成30年度補正予算(案)について 議案第2号 2019年度事業計画(案)について 議案第3号 2019年度収支予算(案)について 議案第4号 平成30年度第3回評議員会の招集(案)について</p>
<p><b>第3回評議員会</b> 平成31年2月5日 福島テルサ 同意評議員 6名 出席監事 2名</p>	<p>報告事項1 平成30年度職務執行状況報告について 報告事項2 平成30年度補正予算について 報告事項3 2019年度事業計画について 報告事項4 2019年度収支予算について</p>
<p><b>第5回理事会</b> 平成31年3月23日 決議の省略による方法 同意理事 10名 同意監事 2名</p>	<p>議案第1号 平成30年度第4回評議員会の開催(案)について</p>

開催月日	提 出 議 題
<b>第4回評議員会</b> 平成31年3月31日 決議の省略による方法 同意評議員 10名	議案第1号 評議員の補充選任（案）について 議案第2号 理事の補充選任（案）について

#### IV 特記事項

なし。